

令和7年度老人保健健康増進等事業  
「難聴高齢者の早期発見・早期対応等の手引きを活用した  
市町村での円滑な事業実施に向けての調査研究事業」

『難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取組実施のための手引き』  
に基づく市町村での取組事例集

令和8年3月

PwC コンサルティング合同会社

## 目次

本事例集について .....	1
◆手引きを活用した取組の概要 .....	1
◆参考 URL .....	1
手引きの内容を基に行ったモデル事業の概要 .....	2
(1) 事例一覧 .....	2
(2) 各モデル自治体での取組内容の詳細(令和6年度) .....	3
① 北海道旭川市 .....	3
② 北海道遠別町 .....	4
③ 秋田県横手市 .....	5
④ 秋田県仙北市 .....	6
⑤ 茨城県日立市 .....	7
⑥ 栃木県さくら市 .....	8
⑦ 埼玉県鴻巣市 .....	9
⑧ 東京都町田市 .....	10
⑨ 神奈川県相模原市 .....	11
⑩ 神奈川県藤沢市 .....	12
⑪ 岐阜県安八町 .....	13
⑫ 静岡県伊豆の国市 .....	14
⑬ 大阪府四條畷市 .....	15
⑭ 奈良県奈良市 .....	16
⑮ 大分県竹田市 .....	17
(3) 各モデル自治体での取組内容の詳細(令和7年度) .....	18
① 北海道遠別町 .....	18
② 宮城県七ヶ浜町 .....	19
③ 群馬県川場村 .....	20
④ 東京都町田市 .....	21
⑤ 静岡県伊豆の国市 .....	22
⑥ 静岡県長泉町 .....	23

## 本事例集について

難聴になると、耳が聞こえづらくなるだけでなく、認知機能にも影響を与える可能性があることが指摘されており、特に加齢性難聴は本人が気づかないうちに進行し、適切な支援や受診に繋がりにくいことが懸念されており、早期発見・早期介入が重要となります。

こうした加齢性難聴の早期発見・早期介入に係る自治体の取組を推進するため、令和5年度及び令和6年度の厚生労働省老人保健健康増進等事業において、先進的な取組を行っている自治体へのヒアリング調査や複数の自治体によるモデル事業を行うことで効果的な実施体制や手法について研究し、『難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取組実施のための手引き』(以下、「手引き」という。)を作成及び改訂しました。事業の詳細は下部の参考 URL からご確認ください。

本事例集は、手引きの第5章に掲載している様々な自治体での手引きを活用した実践事例に、令和7年度のモデル事業協力自治体の事例を追記したものです。人口や高齢化率等、ご自身の自治体に似た自治体がいいくつか掲載されていると思いますので、ぜひ参考にしてください。

### ◆手引きを活用した取組の概要

住民が主体的に集まる場や自治体主催の健康づくりのイベントを活用して、手引きの第4章で示した「聞こえの講座」(聞こえの講話、聞こえのチェック、相談会等)を実施しました。

実施したステップ	取組の内容
普及啓発・早期発見	<ul style="list-style-type: none"><li>住民が集まる場で「聞こえの講座」(講話、聞こえのチェック、相談会等)を実施</li><li>聞こえのチェックで難聴の疑いがある場合、対象者に受診勧奨</li><li>講話や聞こえのチェックによる参加者の意識の変化を調査するため、「聞こえの講座」の冒頭及び終盤で事前/事後アンケートを実施</li></ul>
早期介入	<ul style="list-style-type: none"><li>聞こえのチェックで受診勧奨された方による医療機関の受診や専門職への相談</li></ul>
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"><li>その後の意識や行動の変容及び医療機関の受診状況等を調査するため、「聞こえの講座」参加者に対し、講座実施の2～3ヶ月後にフォローアップアンケートを実施</li><li>難聴の疑いがあるものの未受診の方や補聴器装用が継続できていない方等に対し個別にアプローチし、必要に応じて専門職と連携しフォローアップ</li></ul>
評価・効果測定	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者のアンケートへの回答を集計して分析</li><li>自治体職員への質問紙調査により、自治体としての事業の効果を把握</li></ul>

※ 使用した資料：手引き巻末資料(リーフレット、「聞こえの講話」資料、各種アンケート用紙)

### ◆参考 URL

- 令和5年度「難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた関係者の連携に関する調査研究事業」  
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/health-promotion-business2024.html#welfare-and-social-security02>  
(事業報告書及び手引き第1版を掲載)
- 令和6年度「難聴高齢者の早期発見・早期対応等に向けた手引きの活用に関する調査研究事業」  
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/health-promotion-business2025.html#welfare-and-social-security05>  
(事業報告書及び手引き第2版を掲載)
  - 『難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取組実施のための手引き』(手引き第2版)  
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/assets/pdf/health-promotion-business2025-05.pdf>
  - 手引き巻末資料(リーフレット、「聞こえの講話」資料、各種アンケート用紙)一式  
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/track-record/assets/zip/health-promotion-business2025-01.zip>

## 手引きの内容を基に行ったモデル事業の概要

### (1) 事例一覧

※ 自治体名をクリックすると詳細ページに飛ぶことができます

※ No.1～15は令和6年度のモデル事業ご協力自治体、No.16～21は令和7年度のモデル事業ご協力自治体です

#	自治体名	人口	主担当課	聞こえの講座の実施場所
1	北海道旭川市	320,436人	長寿社会課	● 町内会館(地域の通いの場)
2	北海道遠別町	2,335人	福祉課包括支援係	● サロン ● 老人クラブ
3	秋田県横手市	82,454人	健康推進課	● 市職員向けの衛生講習会の一環で実施
4	秋田県仙北市	23,443人	長寿支援課	● 交流センター(市主催の通いの場) ● 地域の通いの場
5	茨城県日立市	167,198人	高齢福祉課	● 地域の通いの場
6	栃木県さくら市	43,802人	高齢課	● 地域の体操教室 ● 地域のサロン
7	埼玉県鴻巣市	117,582人	介護保険課	● 一般介護予防事業のサロン
8	東京都町田市	430,380人	高齢者支援課	● 市主催のフレイルチェック会
9	神奈川県相模原市	717,861人	高齢・障害者支援課	● 地域の通いの場
10	神奈川県藤沢市	445,172人	高齢者支援課	● 高齢者が利用するシニアセンター ● 市保健医療センター(毎週のトレーニング事業で開催)
11	岐阜県安八町	14,465人	福祉課	● 町内の耳鼻咽喉科診療所
12	静岡県伊豆の国市	46,664人	長寿介護課	● 公民館(地域の通いの場の体操教室)
13	大阪府四條畷市	54,355人	高齢福祉課	● 地域の通いの場
14	奈良県奈良市	349,385人	長寿福祉課	● 市福祉センター(通いの場)
15	大分県竹田市	19,380人	地域包括支援センター	● 住民主体の通いの場
16	北海道遠別町	2,258人	福祉課包括支援係	● 地域支えあいサロン
17	宮城県七ヶ浜町	17,553人	長寿社会課	● 地域の通いの場
18	群馬県川場村	2,973人	健康福祉課	● 保健センターの認知症カフェ ● 民生委員主催の「いきいきサロン」
19	東京都町田市	430,170人	高齢者支援課	● 市主催のフレイルチェック会
20	静岡県伊豆の国市	45,983人	長寿介護課	● 市役所(参加者は一般公募)
21	静岡県長泉町	43,705人	長寿介護課	● 公民館(地域の通いの場)

※人口は No.1～15は令和6年1月1日時点、No.16～21は令和7年1月1日時点

## (2) 各モデル自治体での取組内容の詳細(令和6年度)

### ① 北海道旭川市

#### ● 基本情報

人口	320,436 人
65 歳以上人口	112,423 人
高齢化率	35.1%
市内の耳鼻咽喉科の数	24
参加した目的・理由	令和6年度から介護予防を目的とした補聴器助成事業を実施しており、より良い事業の検討に資するため

#### ● 実施体制

担当部署	長寿社会課
庁内の協力部署	地域包括支援センター
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 2名</li> <li>保健師 3名</li> </ul>
講話の実施者	事務職員

#### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会館(地域の通いの場)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	13人
うち受診勧奨対象者数	8人
参加者の年代や健康状態	70代のフレイル状態の方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> <li>耳の日(3月3日)に関連した耳に関するパネル展の開催や地域包括支援センター職員向けの研修会の実施に繋がった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前アンケートと事後アンケートの記入に時間がかかった</li> <li>受診の必要性を理解してもらうことが難しかった</li> </ul>

(当日の実施の様子)



(その後のパネル展の様子)



## ② 北海道遠別町

### ● 基本情報

人口	2,335 人
65 歳以上人口	985 人
高齢化率	42.2%
市内の耳鼻咽喉科の数	0
参加した目的・理由	近くに耳鼻科がなく聞こえについて相談しにくい環境であることから、本事業を活用し、地域リハで来ている言語聴覚士につなげるため

### ● 実施体制

担当部署	福祉課包括支援係
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	委託先の在宅ケア事業団
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師 2名</li> <li>言語聴覚士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師</li> <li>言語聴覚士(外部)</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①サロン</li> <li>②老人クラブ</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	①15人 ②17人
うち受診勧奨対象者数	①11人 ②11人
参加者の年代や健康状態	70代～90代のフレイル状態の方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者が医療機関を受診したり、専門職へ相談したりする等、具体的な行動に繋がった</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンや老人クラブの日頃の活動で何をしたらいいか困ることも多く、聞こえの講話の実施を提案すると喜んで受け入れてくれた</li> <li>参加者に講話の内容を喜んでもらった</li> <li>事前アンケートと事後アンケートの記入に時間がかかった</li> <li>あまり積極的に言語聴覚士に相談したい人がいなかった</li> </ul>

(当日の実施の様子)



### ③ 秋田県横手市

#### ● 基本情報

人口	82,454 人
65 歳以上人口	33,312 人
高齢化率	40.4%
市内の耳鼻咽喉科の数	5
参加した目的・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壮年期からの難聴に早期対応するため</li> <li>・軽度・中等度難聴補聴器助成事業につなげるため</li> </ul>

#### ● 実施体制

担当部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進課</li> </ul>
庁内の協力部署	人事課
庁外の連携機関	耳鼻咽喉科医院
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員 2名</li> <li>・保健師 7名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鼻咽喉科医師(外部)</li> </ul>

#### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員向けの衛生講習会の一環で実施</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞こえの講話</li> <li>・聞こえのチェック</li> <li>・聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	21人
うち受診勧奨対象者数	21人
参加者の年代や健康状態	40代～60代の健康な人
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>・取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員向けの実施だったため、概ねスムーズに実施できた</li> </ul>

(実施の様子)



#### ④ 秋田県仙北市

##### ● 基本情報

人口	23,443 人
65 歳以上人口	10,478 人
高齢化率	44.7%
市内の耳鼻咽喉科の数	4
参加した目的・理由	補聴器購入助成事業の申請に至るまでの早期発見・早期介入の必要性を強く感じたため

##### ● 実施体制

担当部署	長寿支援課
庁内の協力部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>国保市民課</li> <li>地域包括支援センター</li> </ul>
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅保健師</li> <li>耳鼻咽喉科医院</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 3名</li> <li>保健師 4名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師</li> </ul>

##### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流センター(市主催の通いの場)</li> <li>②・③地域の通いの場</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> <li>フレイル予防のための運動</li> </ul>
参加者数	①54人 ②5人 ③13人
うち受診勧奨対象者数	①15人 ②3人 ③3人
参加者の年代や健康状態	70代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者が医療機関を受診したり、専門職へ相談したりする等、具体的な行動に繋がった</li> <li>参加者から更なる要望があり、取組の周知や他の地区で行うなど規模の拡大が進んだ</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の通いの場のリーダーや参加者に研究事業について説明し、理解を得て実施したところ、予想を上回る程の人数が参加した</li> <li>耳の健康教育は初の試みだったが、参加者は想定以上に興味を示し、加齢を理由として諦めている聞こえの悩み等を解決させるためのきっかけになったと感じられた</li> <li>難聴でも今の生活には何も支障がないので、受診につながりにくく、受診の必要性を理解してもらうのが困難だと感じた</li> </ul>

(実施の様子)



## ⑤ 茨城県日立市

### ● 基本情報

人口	167,198 人
65 歳以上人口	56,448 人
高齢化率	33.8%
市内の耳鼻咽喉科の数	4
参加した目的・理由	難聴に悩む高齢者の実態や支援施策のニーズを十分に把握するため

### ● 実施体制

担当部署	高齢福祉課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県言語聴覚士会</li> <li>地域の通いの場</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士(外部)</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の通いの場</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話(認知症との関係、受診の目安、補聴器の重要性)</li> <li>聞こえのチェック</li> </ul>
参加者数	15人
うち受診勧奨対象者数	13人(全体に受診の必要性を説明し、個別勧奨はなし)
参加者の年代や健康状態	60代～80代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員数を超える申込みがあり、加齢性難聴への関心が高い高齢者が想定より多いことがわかった</li> </ul>

## ⑥ 栃木県さくら市

### ● 基本情報

人口	43,802 人
65 歳以上人口	11,976 人
高齢化率	27.3%
市内の耳鼻咽喉科の数	1
参加した目的・理由	高齢者へ難聴についての普及啓発や難聴の早期発見・受診勧奨を行い、高齢者の気づきのきっかけを作るため

### ● 実施体制

担当部署	高齢課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳鼻咽喉科医院</li> <li>医師団</li> <li>言語聴覚士会</li> <li>地域包括支援センター</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師 2名</li> <li>看護師 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の体操教室</li> <li>②③地域のサロン</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> </ul>
参加者数	①51人 ②12人 ③16人
うち受診勧奨対象者数	①26人 ②12人 ③11人
参加者の年代や健康状態	70代～80代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者からさらなる要望があり、取組の周知や規模の拡大が進んだ</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>講話の中での参加者の反応が良く、講話後も他のサロンで話してほしいと要望があった</li> <li>参加人数が予想より多く、市民の興味が伺えた</li> <li>本事業をきっかけに言語聴覚士協会に協力依頼や相談をするようになり、連携を深めるきっかけになった</li> <li>実施した通いの場やサロン、地域包括支援センターとの連携が深まった</li> </ul>

(実施の様子)



## ⑦ 埼玉県鴻巣市

### ● 基本情報

人口	117,582 人
65 歳以上人口	36,199 人
高齢化率	30.8%
市内の耳鼻咽喉科の数	4
参加した目的・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブ交付金指標にもなっていることから、来年度の予算要求を前に事業のノウハウを学ぶため</li> <li>・難聴者補聴器購入費助成事業を有効活用するため</li> </ul>

### ● 実施体制

担当部署	介護保険課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会</li> <li>・耳鼻咽喉科医院</li> <li>・一般介護予防事業のサロン</li> <li>・地域包括支援センター</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員 1名</li> <li>・保健師 1名</li> <li>・社会福祉士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般介護予防事業のサロン</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞こえの講話</li> <li>・聞こえのチェック</li> <li>・聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	25人
うち受診勧奨対象者数	10人
参加者の年代や健康状態	70代～80代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・取組の具体的な効果が見られたことで、規模を拡大して継続したり、別の新たな取組を開始したりすることに繋がった</li> <li>・来年度の一般介護予防事業としての予算要求に繋がった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に実施予定のサロンのリーダーに説明し、参加者募集のリーフレットを配布して参加者を募った</li> <li>・1時間の2人体制で、参加者25人全員の個別相談に対応したが、一人一人に時間を十分に取れなかった</li> </ul>

## ⑧ 東京都町田市

### ● 基本情報

人口	430,380 人
65 歳以上人口	117,471 人
高齢化率	27.3%
市内の耳鼻咽喉科の数	20
参加した目的・理由	令和6年度から加齢性難聴の早期発見・早期対応のための啓発に取り組んでおり、モデル事業を通じて、より効果的な取組につなげることができると考えたため

### ● 実施体制

担当部署	高齢者支援課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター</li> <li>シルバー人材センター</li> <li>医師会</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 4名</li> <li>看護師 1名</li> </ul> (その他、シルバー人材センターが運営をサポート)
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②市主催のフレイルチェック会</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> <li>聞こえ以外についての講話</li> <li>聞こえ以外についてのフレイルチェック</li> <li>体力測定</li> <li>地域包括支援センターによる相談や地域活動紹介ブースの設置</li> </ul>
参加者数	①21人 ②26人
うち受診勧奨対象者数	①9人 ②9人
参加者の年代や健康状態	65歳以上の健康またはフレイルの方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営の委託先である地域包括支援センターやシルバー人材センターにとっても、職員の難聴に関する理解が深まった</li> <li>講話は事務職員が実施しても伝えやすい内容であり、その講話を聴いて個別相談ブースに来た人もいるなど、講話の効果が見られた</li> <li>定員いっぱい参加申し込みがあった</li> <li>同意書やアンケート等の配布物が多く、記入の案内やサポートに時間を要した</li> </ul>

## ⑨ 神奈川県相模原市

### ● 基本情報

人口	717,861人
65歳以上人口	190,068人
高齢化率	26.5%
市内の耳鼻咽喉科の数	28
参加した目的・理由	令和4年7月から補聴器助成と介護予防をセットにした事業を進めており、高齢者の難聴の普及啓発のより良い取組を実施するため

### ● 実施体制

担当部署	高齢・障害者支援課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会</li> <li>地域包括支援センター</li> <li>地域の通いの場</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 2名</li> <li>保健師 1名</li> <li>管理栄養士 1名</li> <li>作業療法士 1名</li> <li>理学療法士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員</li> <li>保健師</li> <li>管理栄養士</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①～⑧地域の通いの場</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> </ul>
参加者数	①7人 ②28人 ③13人 ④13人 ⑤12人 ⑥21人 ⑦16人 ⑧17人
うち受診勧奨対象者数	①0人 ②22人 ③8人 ④10人 ⑤9人 ⑥13人 ⑦5人 ⑧10人
参加者の年代や健康状態	70代～80代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定以上の申込があり、高齢者の聞こえの興味が高いことを実感した</li> <li>耳鼻咽喉科に通っている人にとっては、「聞こえの講話」の多くは知っている内容だったかもしれない</li> <li>事前アンケートと事後アンケートの記入に時間がかかった</li> </ul>

## ⑩ 神奈川県藤沢市

### ● 基本情報

人口	445,172 人
65 歳以上人口	109,255 人
高齢化率	24.5%
市内の耳鼻咽喉科の数	14
参加した目的・理由	加齢性難聴に関する早期発見・早期対応の事業スキーム構築のため

### ● 実施体制

担当部署	高齢者支援課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会(耳鼻科医会)</li> <li>耳鼻咽喉科医院</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 1名</li> <li>保健師 2名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者が利用するシニアセンター</li> <li>②市保健医療センター(毎週のトレーニング事業で開催)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> </ul>
参加者数	①12人 ②18人
うち受診勧奨対象者数	①10人 ②15人
参加者の年代や健康状態	60代～80代の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえに関する簡単な普及啓発を行うことを想定していたが、実際の参加者は専門的な聞こえのチェックや相談を求めている</li> <li>今年度、加齢性難聴に関する事業実施を通じて、医師会・耳鼻科医会との連携を開始した</li> </ul>

## ⑪ 岐阜県安八町

### ● 基本情報

人口	14,465 人
65 歳以上人口	4,204 人
高齢化率	29.1%
市内の耳鼻咽喉科の数	1
参加した目的・理由	令和6年度より中等度の難聴高齢者補聴器購入助成事業を行っているが、既利用者のフォローアップだけではなく、ハイリスク者への早期介入の効果検証も行うため

### ● 実施体制

担当部署	福祉課
庁内の協力部署	保健センター
庁外の連携機関	耳鼻咽喉科医院
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師 4名</li> <li>社会福祉士 1名</li> <li>看護師 1名</li> <li>医師 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳鼻咽喉科医師(外部)</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の耳鼻咽喉科診療所 (事業実施にあたり町内の耳鼻咽喉科医に事業の説明をしたところ、講話の話者としての協力を得られたため、診療所での実施となった。)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	12人
うち受診勧奨対象者数	10人
参加者の年代や健康状態	70代～80代の健康またはフレイル状態の方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> <li>取組の具体的な効果が見られたことで、規模を拡大して継続したり、別の新たな取組を開始したりすることに繋がった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳鼻咽喉科医に事業への協力依頼をしたところ、講話の話者としての協力を得られた</li> <li>予定人数より参加者は少なかったが、今まで繋がりのなかった耳に不安を抱える町民からの参加アクションがあり、今後のフォローアップがしやすくなった</li> <li>医療機関との連携により、耳の聞こえに関するだけでなく、その他認知症等で支援が必要な方に関する情報提供が増え、早期介入に繋がった</li> <li>事前アンケートと事後アンケートの記入に時間がかかった</li> </ul>

## ⑫ 静岡県伊豆の国市

人口	46,664 人
65 歳以上人口	15,867 人
高齢化率	34.0%
市内の耳鼻咽喉科の数	3
参加した目的・理由	補聴器助成制度を新設し、認知症対策担当も増員になったことから、予算がなくても新しくできることに着手しようと考えたため

### ● 実施体制

担当部署	長寿介護課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会</li> <li>耳鼻咽喉科医院</li> <li>認定補聴器専門店</li> <li>地域の通いの場</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 2名</li> <li>看護師 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館(地域の通いの場)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	12人
うち受診勧奨対象者数	8人
参加者の年代や健康状態	70 代後半から 80 代前半の健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者が医療機関を受診したり、専門職へ相談したりする等、具体的な行動に繋がった</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>元々医師会との関係が十分に構築されていなかったが、事業説明を行うなど、医師会との接点ができた</li> <li>通いの場のリーダーや参加者に事業の趣旨を伝えたところ、概ね予想通りの人数が集まった</li> <li>聞こえの講座を開催した通いの場の参加者より、今後の講座(聞こえの講座以外の内容)の要望等を聞くことができた</li> </ul>

### ⑬ 大阪府四條畷市

#### ● 基本情報

人口	54,355 人
65 歳以上人口	14,610 人
高齢化率	26.9%
市内の耳鼻咽喉科の数	2
参加した目的・理由	窓口で大きな声で話す人のプライバシー保護の問題や議会での補聴器についての質問等から、高齢者の聴覚の実態を把握するため

#### ● 実施体制

担当部署	高齢福祉課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会</li> <li>・ 耳鼻咽喉科医院</li> <li>・ 地域の通いの場</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務職員 1名</li> <li>・ 保健師 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健師</li> </ul>

#### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②地域の通いの場</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞こえの講話</li> <li>・ 聞こえのチェック</li> <li>・ 簡単なストレッチやシナプソロジー</li> </ul>
参加者数	①11人 ②1人
うち受診勧奨対象者数	①6人 ②0人
参加者の年代や健康状態	70代～80代の健康またはフレイルの方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>・ 取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員にとっても、補聴器選びの複雑さが理解できた</li> <li>・ 医師会の会長に説明し、医師会のホームページにある会員の耳鼻咽喉科の紹介について許可を快くいただいた</li> <li>・ 予約制ではない通いの場での実施であったため、参加人数が想定しづらかった</li> <li>・ 実施場所や実施時期によって参加者数が大きく変わったため、人が集まりやすい場所を選ぶことや、人が集まりにくい時期は避けるなどの工夫が必要と感じた</li> </ul>

## ⑭ 奈良県奈良市

### ● 基本情報

人口	349,385 人
65 歳以上人口	112,159 人
高齢化率	32.1%
市内の耳鼻咽喉科の数	22
参加した目的・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に対して聞こえについての意識づけ、早期発見・早期対応の必要性や補聴器に関する情報提供を行う必要があると考えたため</li> <li>・加齢性難聴者への支援の考え方、手法を学び、関係機関との連携のきっかけを作るため</li> </ul>

### ● 実施体制

担当部署	長寿福祉課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会・耳鼻咽喉科医会</li> <li>・ 言語聴覚士</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務職員 3名</li> <li>・ 保健師 1名</li> <li>・ 言語聴覚士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語聴覚士(外部)</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②③市福祉センター(通いの場)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞こえの講話</li> <li>・ 聞こえのチェック</li> <li>・ 聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	①6人 ②20人 ③18人
うち受診勧奨対象者数	①6人 ②18人 ③17人
参加者の年代や健康状態	平均78歳で健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>・ 取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内はどの部署も繁忙で人員不足のため、庁内の他部署の協力を得ることは難しかった</li> <li>・ 言語聴覚士や耳鼻咽喉科医師とのつながりができた</li> <li>・ 地区医師会や地区耳鼻咽喉科医会からモデル事業に関して問合せがあり、地区の耳鼻咽喉科医療機関の一覧を提供いただくなど、連携を図るきっかけとなった</li> <li>・ 言語聴覚士が講話を行ってくれたため、参加者に対して細やかな助言をするなど効果的に実施することができた</li> <li>・ 加齢性難聴のこと等を教えていただき職員の理解が深まった</li> </ul>

(実施の様子)



## ⑮ 大分県竹田市

### ● 基本情報

人口	19,380 人
65 歳以上人口	9,523 人
高齢化率	49.1%
市内の耳鼻咽喉科の数	1
参加した目的・理由	もともと地域住民へ難聴の講話を行っており、継続して実施する体制が整っていたため

### ● 実施体制

担当部署	地域包括支援センター
庁内の協力部署	高齢者福祉課
庁外の連携機関	なし
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健師 1名</li> <li>・ 言語聴覚士 1名</li> <li>・ 管理栄養士 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語聴覚士</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民主体の通いの場</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞こえの講話</li> <li>・ 聞こえのチェック</li> <li>・ 聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	7人
うち受診勧奨対象者数	3人
参加者の年代や健康状態	80代で様々な状態の方がいた
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通いの場のリーダーへ事前に相談を行い、実施の了承を得た</li> <li>・ 参加者が難聴のことを理解し、事前・事後のアンケートでも聞こえに関する意識や行動変化に関する前向きな回答が見られた</li> </ul>

(実施の様子)



### (3) 各モデル自治体での取組内容の詳細(令和7年度)

#### ① 北海道遠別町

##### ● 基本情報

人口	2,258 人
65 歳以上人口	947 人
高齢化率	41.9%
市内の耳鼻咽喉科の数	0
参加した目的・理由	近くに耳鼻科がなく受診が難しい地域であり、地域リハビリテーションの言語聴覚士につなげられるように実施したいと考えたため。

##### ● 実施体制

担当部署	福祉課包括支援係
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	社会福祉協議会に連絡しサロンで聞こえの講話を行えるように調整
実施体制	・ 保健師 2名
講話の実施者	・ 保健師

##### ● 実施内容・結果

実施場所	・ 地域支えあいサロン
実施内容	・ 聞こえの講話 ・ 聞こえのチェック ・ 聞こえについての相談会
参加者数	22人
うち受診勧奨対象者数	17人
参加者の年代や健康状態	70代～90 代のフレイルの方が多かった
事業実施による効果	・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した ・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた
参加者や関係者の反応	・ アンケートへの記入が難しい方が多く、年齢で一律に区切るよりも講話やアンケートを理解できる人を対象者とするのが適切だったと感じた

## ② 宮城県七ヶ浜町

### ● 基本情報

人口	17,553 人
65 歳以上人口	6,007 人
高齢化率	34.2%
市内の耳鼻咽喉科の数	0
参加した目的・理由	高齢者の難聴に関する地域の関心がどのくらいあるかなど、実態を知りたいと考えたため。

### ● 実施体制

担当部署	長寿社会課
庁内の協力部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉課(成人保健部門)</li> <li>地域包括支援センター</li> </ul>
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会</li> <li>耳鼻咽喉科医院</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師 4名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の避難所(地域の通いの場)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> </ul>
参加者数	16人
うち受診勧奨対象者数	14人
参加者の年代や健康状態	平均年齢 77.4 歳で健康又はフレイルの方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>取組を行ったことで庁外の関係者や関係機関との連携が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートや同意書など記載するものが多く、対象者が負担感を持っていた</li> <li>早期発見、早期対処には、よりモチベーションの高い集団への働きかけや、自家用車を運転して受診行動を取れる対象者に対して行うのがよいと思った</li> <li>講話は保健師が行ったが、講話の実施者は医師の方が効果があったかもしれない</li> </ul>

### ③ 群馬県川場村

#### ● 基本情報

人口	2,973 人
65 歳以上人口	1,199 人
高齢化率	40.3%
市内の耳鼻咽喉科の数	0
参加した目的・理由	高齢化社会の進行により、加齢性難聴の人が増加しているが、難聴を「老化の一部」として放置しやすく、難聴高齢者の早期発見が難しい。いずれは補聴器購入費助成事業をつなげていきたい。

#### ● 実施体制

担当部署	健康福祉課
庁内の協力部署	地域包括支援センター
庁外の連携機関	民生委員
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①事務職員 2名</li> <li>・ ①看護師 1名</li> <li>・ ①その他 1名</li> <li>・ ②事務職員 2名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②事務職員</li> </ul>

#### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①保健センター(毎月行われている認知症カフェにて実施)</li> <li>・ ②地区の集会所(民生委員主催の「いきいきサロン」にて実施)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②聞こえの講話</li> <li>・ ①②聞こえのチェック</li> <li>・ ①聞こえ以外についての講話</li> <li>・ ①ボランティアによる製作活動</li> <li>・ ①食生活改善推進協議会によるおやつ提供</li> <li>・ ①駐在所所長による熊対策と防犯対策講話</li> <li>・ ②民生委員によるクリスマス会製作活動</li> </ul>
参加者数	①33人 ②10人
うち受診勧奨対象者数	①個別の受診勧奨はしていない ②5人
参加者の年代や健康状態	70代～90代で健康な方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>・ 参加者が医療機関を受診したり、専門職へ相談したりする等、具体的な行動に繋がった</li> <li>・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>・ 取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> <li>・ 事務職員が集まりの場に出向く機会が少なかったため、地域の方との交流が図れた</li> <li>・ 民生委員に協力依頼を求め、連携と交流をもつことができた</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症カフェや食生活推進事業と同時に行うことを周知し、参加者を募ったところ、想定以上の参加者であった</li> <li>・ アンケート内容が多く、一人ひとりに補助が必要であった</li> <li>・ 普及啓発には、もっと若年層へのアプローチが適切だと感じた</li> </ul>

#### ④ 東京都町田市

##### ● 基本情報

人口	430,170 人
65 歳以上人口	117,692 人
高齢化率	27.4%
市内の耳鼻咽喉科の数	18(総合病院含む)
参加した目的・理由	昨年度からヒアリングフレイルの啓発に取り組んできたが、モデル事業に継続して参加することで、市の取り組みの効果検証につながると考えたため。

##### ● 実施体制

担当部署	高齢者支援課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者支援センター(地域包括支援センター)</li> <li>シルバー人材センター</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 2名</li> <li>保健師 1名</li> <li>看護師 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員</li> </ul>

##### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センター(市主催のフレイルチェック会の中で実施)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> <li>機器を用いた下肢筋力の測定、身長、体重の測定</li> <li>フレイル・運動・栄養・社会参加・口腔の講話を合わせて 60 分程度実施</li> <li>地域包括支援センターの相談ブース・地域活動紹介ブースの設置</li> </ul>
参加者数	29人
うち受診勧奨対象者数	25人
参加者の年代や健康状態	65 歳以上で健康又はフレイルの方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者が医療機関を受診したり、専門職へ相談したりする等、具体的な行動に繋がった</li> <li>参加者の具体的な行動の結果、生活の質が向上した</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> <li>取組を行ったことで庁内の職員や関係者の取組に関連する知識が深まった</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員は満員となり、当日キャンセル者を除くと、参加者は予定通り集まった</li> <li>同意書やアンケート等の配布物が多く、記載の案内やサポートに時間を要した</li> <li>普及啓発については比較的若い年代(前期高齢者)が適しているが、受診勧奨については 75 歳以上の後期高齢者が適していると感じた</li> </ul>

## ⑤ 静岡県伊豆の国市

### ● 基本情報

人口	45,983 人
65 歳以上人口	15,826 人
高齢化率	34.4%
市内の耳鼻咽喉科の数	2か所(聴力レベルの診断が可能な医療機関)
参加した目的・理由	補聴器購入費助成事業があり、昨年度試験的に開催するためモデル事業に参加したところ好評だったこと、昨年度の経験から事務負担が多くはないこと。

### ● 実施体制

担当部署	長寿介護課
庁内の協力部署	協働まちづくり課(広報担当課)
庁外の連携機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区医師会</li> <li>地域の耳鼻咽喉科医院</li> <li>地域包括支援センター</li> <li>地域の居宅介護支援事業所</li> <li>地域の補聴器販売業者</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員 1名</li> <li>保健師 1名</li> <li>看護師 1名</li> <li>その他 1名</li> </ul>
講話の実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員</li> </ul>

### ● 実施内容・結果

実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所(市制施行20周年記念事業として一般市民から公募し実施)</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえの講話</li> <li>聞こえのチェック</li> <li>聞こえについての相談会</li> <li>補聴器購入費助成事業の紹介</li> </ul>
参加者数	20人
うち受診勧奨対象者数	19人
参加者の年代や健康状態	70代 14人、80代 5人、90代 1人でフレイルの方が多かった
事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した</li> <li>参加者からさらなる要望があり、取組の周知や規模の拡大が進んだ</li> <li>取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた</li> </ul>
参加者や関係者の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所については、参加者の公募に協力してくれた</li> <li>広報紙、LINE、公式HP、チラシによる募集を行い、定員20人としたところ、予約が数日で埋まった</li> <li>20人の参加者に対し、3人の職員で相談(個別面談)を行ったが、ひとり一人の相談時間が長く、参加者をより増やすことは難しく思えた</li> <li>早期発見のためには今回の対象者集団が適切と思われる</li> <li>昨年度の参加者のうち、継続的な受診勧奨をせずに年度が変わってから補聴器を購入し、購入費を助成したケースがある。本人が必要を感じたことがきっかけと思われる</li> </ul>

## ⑥ 静岡県長泉町

### ● 基本情報

人口	43,705 人
65 歳以上人口	9,762 人
高齢化率	22.3%
市内の耳鼻咽喉科の数	3
参加した目的・理由	補聴器購入費助成事業は長年継続しているものの、補聴器の早期装用について町民に啓発する機会を設けておらず、課題を感じていた。インセンティブ交付金の加算項目である、難聴高齢者の早期発見の取組にもつながると考えた。

### ● 実施体制

担当部署	長寿介護課
庁内の協力部署	なし
庁外の連携機関	地域包括支援センター
実施体制	・ 事務職員 1名
講話の実施者	・ 事務職員

### ● 実施内容・結果

実施場所	・ ①②公民館(地域の通いの場)
実施内容	・ ①②聞こえの講話 ・ ①②聞こえのチェック ・ ②地域包括支援センター職員による介護予防体操
参加者数	①20人 ②17人
うち受診勧奨対象者数	①9人 ②9人
参加者の年代や健康状態	70代～80代のフレイルの方が多かった
事業実施による効果	・ 参加者から好意的な感想が聞かれるなど、聞こえに関する意識が向上した ・ 取組を行ったことで住民のニーズを把握することができた ・ 自治体職員による講話に加え、地域包括支援センターの職員に補足の事例紹介などを行っていただき、住民の理解が深まった
参加者や関係者の反応	・ チェックリストに1つでも○が付けば受診をおすすめする、と説明したが、アンケートを見ると伝わっていない人が多数いた様子であった。もう少し丁寧な説明が必要であった ・ 「聞こえないこと」に慣れてしまい、このままで良いと感じている方が多いように感じた。もう少し若年層へのアプローチも必要だと思った